

義務教育学校の設置に関する検討委員会だより ⑤

東国分中学校ブロック 義務教育学校の設置に関する検討委員会

第5回検討委員会の概要をお知らせいたします。

- 1 日 時 令和2年10月7日(水) 17時00分～18時30分
- 2 会 場 市川市立東国分中学校
- 3 構 成 ・委員長：大学教授
(19名) ・委員：各学校(東国分中・曾谷小・稲越小)の学校運営協議会代表
- 4 内 容 ・主に通称名の候補及び小中一貫型小中学校基本方針(案)についての協議を行いました。
- 5 説明事項及び協議内容

※ 教育委員会の説明事項は概要を記載しています。「会議資料」をホームページに掲載していますので、詳しくは、そちらをご覧ください。

【教育委員会⇒分野別情報「学校教育・学校施設」⇒義務教育学校の設置に関する検討委員会】

※ 協議の内容は、意見等を出来るだけ詳しく記載し、検討委員会の様子をお伝えすることとしています。

(1) 小中一貫型小学校・中学校基本方針(案)について

① 説明事項：小中一貫型小学校・中学校の取組によって期待される教育効果

<児童生徒に対する効果>

- 小学校と中学校の学びと育ちを、義務教育9年間で捉えなおすことにより、子供の精神的、身体的な発達に即した教育課程の編成や、学年段階間の区分による発達段階に合った教育活動が可能となるため、子供たちの学習や学校生活に否定的な影響を与える「中一ギャップ」の緩和が期待できます。
- 5・6年生の一部教科で教科担任制を実施し、専門性の高い指導によって学力の向上が期待できます。また、早期から教科担任制を継続的に実施できることから、学力の向上とともに、学習意欲も高まることが期待できます。
- 幅広い年齢による交流活動を多く実施することで、自己肯定感の高まりが期待できます。また、年齢の離れた児童生徒の交流により、思いやりの心が育まれるとともに、問題行動の予防にも期待できます。
- 小学校高学年から、中学校段階の部活動や生徒会に参加できる環境を整えることができ、早い時期からの中学校段階の活動経験が可能となります。また、部活動の活性化も期待できます。

<教職員から見た効果>

- 小学校段階からの教科担任制の導入によって、教員一人一人の授業改善が図られ、子供の発達に対する教員の意識が深まるのが期待できます。小学校の教員が、中学校への学習のつながりを理解し、躰きやすい内容の指導の工夫によって「わかる授業」に結び付いたり、中学校の教員が、小・中学校の学習のつながりを理解することによって、中学校での授業改善に結び付いたりすることが期待できます。
- 異学年での交流活動によって、教職員の児童生徒理解の深化や、協力して指導に当たる意識の向上につながるものが期待できます。
- 責任体制を明確化するなど、小中一貫教育にふさわしい運営体制を整えることにより、学校事務の共同実施等の促進も期待され、校務の効率化や質の向上につながるものが期待されます。

② 協議の内容 (○：委員長及び委員 ●：事務局)

- 「5,6年生の一部教科で教科担任制を実施」の部分を読むと、「小学校の教員は専門性が高くないから学力の向上が期待できない」ということが反語として出てくると思うのです。それが教科担任になると学力が向上し、学習意欲も高まるという事ですから、小学校の先生はいくら頑張ってもそういうことはないかと聞かえてしまうのではないかと、私はいつも引っかかっています。小学校の先生も色々と研究をしていますから、この「専門性」や「学力の向上」は、何か良い言葉が見つからないかと思えます。
- 5,6年生の内容から中学校の内容へ発展していくところがすごくありますが、小学校6年生で一回止まってしまうところが

あるのです。それを連続的に学習していくことで、学習効果が高まるというのはとても予想できます。この義務教育学校で良いと思うことは、カリキュラムを柔軟に、教える内容を小学校と中学校でうまく混ぜてやっていくことが出来ることです。そこが「専門性」という言葉に置き換わっているのだと思います。ですから、そういうことを踏まえて文言を考えて頂けると良いと思います。中学校から小学校に先生が行って一緒に授業をやる時も、ニュアンスとしては「専門性」ではなく、小中の垣根を崩して、中学校の学習につなげるというイメージを持っていただけると良いと思います。

○先生方は誇りをもって子供たちの指導をしているので、それぞれの思いが通じ合い理解し合うこと、信頼し合うことが大事だとお聞きしました。その点について、お互いが理解し合う過程といえますか、そういったこともこの中に入っていると良いと思いました。全員協議会的なものを出来る限り開いて、どの先生であっても自分の意見を交換し合う、信頼し合う場を多くつくってもらえれば、スムーズにいく一貫になるのではないかと思います。

③ 説明事項：東国分中ブロックの小中一貫型小学校・中学校の目指す方向

併設型小中一貫校（通称名）学園 教育目標（案）

第3期市川市教育振興基本計画（基本理念） 人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

笑顔をつなぐ 未来へつなぐ （通称名）の学び

曾谷小学校教育目標 稲越小学校教育目標 東国分中学校教育目標

< キーワードとコンセプト >

シンプルで、おぼえやすい 小さな子にもわかりやすい

教育の成果 関連	小中一貫 関連	地域 関連
学び 笑顔 人	つなぐ 未来 夢	（通称名） 地域社会
学びの課程と成果から多くの笑顔が生まれ、人のコミュニケーションが笑顔をつなぐ	9年間の一貫教育は、多年代、世代をつなぎ、将来・未来の夢につながる	地域とともにある学園から育つ人材が、地域社会の担い手となる好循環を生む



わかった できた 伸びた いいね うれしい
 楽しい 安心 感謝 思いやり あいさつ
 健やか 元気 心地良い フクフク ドキドキ

○それぞれの学校教育目標と齟齬が出ないようにしました。

○キーワードとコンセプトは、3校に共通する目標を、覚えやすい言葉にしました。

○教育の成果のキーワードは「学び、笑顔、人」です。学びの過程と成果から、子供たちに多くの笑顔が生まれ、コミュニケーションによってさらに笑顔が増えていくことを考えました。

○小中一貫のキーワードは「つなぐ、未来、夢」です。9年間の一貫教育は、多年代、世代をつなぎ、将来・未来の夢につながることを考えました。

○地域のキーワードは、「（通称名）地域社会」です。「地域と共にある学園」から育つ人材が、地域社会の担い手となる好循環を生んでいくということを考えました。

④ 協議の内容（○：委員長及び委員 ●：事務局）

○地域社会の所に「学園」という言葉が使っているのですが、今の段階では使うべきではないのではないかと思います。趣旨としては分かるのですが、学園という言葉はどうかという気がします。

○これは、塩浜学園が「学園」ですので、前提として学園と言う名前になるところからスタートしています。それだけのことで、この場で「学園」ではなく「義務教育学校」になるということになれば、それに合わせます。

○教育目標は「わかった」「できた」と積極的な方向から書かれているのですが、「わからない」といったことが成長につながるの、両方から見た方が良くはないでしょうか。失敗から学んでいくという事も大切だと思います。

○目指す子ども像ですが、小学生、中学生の子供たちは、もちろん勉強も大事ですが、心の豊かさが大事だと感じました。社会に出ていくと、今度は人間力が大事になってくると感じますので、目指す子ども像は、「心の豊かさ」と「人間力」を子供たちに伝えていけたらと思います。

(2) 通称名の候補について

① 説明事項：通称名募集の結果

応募の状況		応募のあった通称名数
学校等	人数	
東国分中学校	34名（保護者1名）	318
曾谷小学校	221名（保護者6名）	
稲越小学校	112名（保護者2名）	
地域関係者	4名	
合計	371名	

② 協議の内容（○：委員長及び委員 ●：事務局）

- 義務教育学校の設置については問題ないのですが、児童生徒の応募状況、内容、人数等をみますと、やはり義務教育学校の理解が進んでいないと思います。そして設置場所なども分からないまま議論をしているので、応募してもらい、その後には選考するという事に無理があるのではないかと思います。理解が進んでいない中での公募であって、無理があると思います。そもそも公募で決めるというのは市の発想であって、市のホームページにも出ているわけですから、市が責任をもって選考すべきだと考えます。私たち検討委員は、小中一貫をつかった場合にどうなるかといったことは言えますが、市が新しく設置する学校の通称名について選考するという事はないと思います。何年度にどこに設置するかも分からず、検討するにあたっては選考基準が明確ではないから、どれを選べと言われても皆さん苦労されたと思います。この中から5つ選んで、「これが選考委員会で決定したものです」と言われても、稲越小や曾谷小は分かりますが、東国分中の生徒が、「一番多かった『なかよし学園』に決まりました」と言われた時にどんな反応を示すか気になってしまいます。やはり通称であっても学校名は重要です。ゆくゆくは学校の校歌ですとか、または高等学校に進学するときの印象などもあるので、慎重に考えた方が良いと思います。
- もう少し検討の余地があるのではないかと思います。私も全国の小中一貫校を調べてみましたが、つくば市は全て後ろに「義務教育学校」がついています。東京の品川区は「○○学園」と言うようにしています。市川市教委も義務教育学校をつくっていくのであれば、例えば東国分義務教育学校とか義務教育学校東国分学園とかにすれば、高谷であれば高谷義務教育学校、第一中学校であれば市川第一義務教育学校というようになり、塩浜学園と並んでもおかしくないと思います。市の姿勢から考えていくと、義務教育学校をアピールする必要があると思うのです。市が義務教育学校をつくるのであれば、市全体のバランスや全国の状況を見て決めた方が良いと思います。
- 塩浜学園も同じプロセスで決めました。児童生徒、保護者、地域から公募して、それを当時の検討委員会で最終的に一つに絞ったものを、教育委員会議で基本計画として決定しました。今回もそのような形をとるのは、市川市がコミュニティ・スクール、「地域と共にある学校」を進めているからです。これからの学校づくりは、地域と共に進めていく必要があると考えています。市が「こういう名前できましよう」と言うよりも、地域の中でどういう学校づくりをするのかを、保護者も含めて地域で話し合っ進めて頂くのが現在の市川市のスタンスですので、公募をして、皆さんに絞って頂くという事にしました。理解が進んでいないという事は、確かにその通りだと思っています。そこについて、もう少し理解が浸透してから進めた方が良いというのであればその通りだと思っています。
- 義務教育学校のスタートという方向になった時に、学校の通称を決めてスタートした方が意識が高まるから良いのではないかと提案をしようと思っていたら、委員会から出たので「ああ良い方向だな」と思っていたのですが、中身を見ていたらそういった不備が出てきていると思いました。ただ一つの目標としては、みんなでやっという気持ちを高めるために、自分たちも参加したという気持ちをつくろうという思いでやっているのだと思います。それはそれで良いのですが、これから義務教育学校をもっと広げようというのだから、どこかで統一性のようなものがないとまずいと思います。私も塩浜学園があるので「学園」は最低統一させないといけなとか、色々考えました。塩浜学園のように学園で統一して、その上で地域それぞれの個性を活かしながらやるとした方が良いと思います。統一性のようなものがある程度ない中で、自由にやっという事は、訳の分からない学校の名前になってしまいます。
- 先ず自分で考えようと思いましたが、やはり大人の感覚でいくと、最終的にぴったり合わないとおかしいのではないかと、校歌をつくった時に字余りになったらいけないのではないかと発想が先になってしまうのです。そうすると素直な発想が出てこなくて、やはり子供たちの発想はすごいなと思ったんです。やはり学校でやらされているという感覚の子供たちがまだたくさんいると思うのです。学校で決められたことをやらされた教育の子供たちよりも、これからは子供たちが積極的に自分たちで考えながらやっという教育が必要だと思うのです。算数や国語といった勉強もできなければならないのですが、違う形で、自分たちが積極的に前に進んで、「だめなものだめ」「これはおかしい」という事を、どんどん言えるような形の学校が理想だと思うのです。そのためにも、やはり学校名を決めるときにも、自分たちが一生懸命に考えたんだということが大切だと思います。すごく爽や

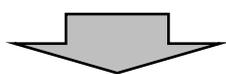
かな名前がたくさんあると思うのですが、それは子供たちなりにすごく素直な気持ちで考えたと思うので、やはり大事にしなければならぬことだと思います。ただし、例えば「学園」はつけようとか、統一性を持たせる事も必要だと思います。やはり子供たちの気持ちは大事なので、これをどうにか取り入れて、新しい学校にしていくことが良いと思います。

●通称名は今回の併設型に限ってつけていこうと考えています。今後一体型にするかどうかは、3校での併設型を進めながら検討していきますが、校舎一体型の義務教育学校になるとなった時に、どこの場所につくるのかを決めていきますので、そこで、義務教育学校としての名前をというように考えています。今回は、併設型で現在の学校のまま運営していくときの通称名という事です。しかし、みなさんの今日の協議で、スタートしてからもう一度子供たちに投げかけてみたらどうだろうかという事であれば、皆さんのご意見に従っていききたいと思います。

○371名の子供たち等の応募があります。ご意見は大切ですが、やはり371と言うのは非常に大きなウエイトがあると思うのです。ですから、今日頂いた意見は今後に活かしていきますが、今日は集計したもので進め、こういうものが出てきたという報告をしていくべきではないかと考えます。お考えやご意見は色々あると思うのですが、やはり子供たちの意見に応える流れでやらせて頂きたいと思えます。

○中学校が34名と言うのはどういう事でしょうか。稲越小と曾谷小は全員のような気がするのですが、中学校が34名と言うのはどういう経緯ですか。

○募集ということで、その数になります。全員に説明をして、市教委の説明動画を見せて、それで思いついた生徒は出すようにという形です。それにしても、考えたり検討したりする時間が足りなかったという感想はあります。



③ 説明事項：検討委員会委員による投票の結果

- 各検討委員が候補としたい通称名案を10個以内で選び、2票以上の以下の案をもとに、協議を行いました。

1	曾谷学園	8	市川北学園	15	令和学園
2	北市川学園	9	いちかわ水の郷学園	16	三つ夢学園
3	市川北部学園	10	春木川学園	17	市川市立曾谷の郷学園
4	東国分学園	11	東国分	18	春來川学園
5	夢輝	12	東国分総合	19	爽風学園
6	未来創造学園	13	ふれあい学園	20	梨の花学園
7	H I S 学園	14	緑の風学園	21	絆学園

④ 協議の内容（○：委員長及び委員 ●：事務局）

○全部で21になるわけですね。「なかよし」は、子供たち、地域、保護者の中で一番多かったのに入っているという事でご了解ください。1票または0票を除いてすべて言って頂きました。この後ですが、一つは提案して頂いたこのことを生かすという事です。そしてこの検討委員会で、ここからいくつかに絞り、決めるのは子供たちにお願しようということになります。最終的には教育委員会会議に出しますので、ここでは子供たちが選べるようにいくつかに絞っていききたいと思います。

●21個出ていますので、まずは半分程度に絞っていただき、その中から「なかよし学校」を含めて、5から7ぐらいでどうかと思います。

○ここまでいくつか絞られていますので、これをもう少しという形にしたいと思います。この後の進め方ですが、特に皆さんの方で「どうしても」という意見がなければ、6票の案は3分の1を超えていますので、残すことが投票していただいた形からすれば大切だと思います。皆さんからいただいた6票以上の案を児童生徒に提案する検討委員会の案としたいと思います。よろしいでしょうか。それでは6票以上の案をもう一度確認していただけますでしょうか。

●6票以上は、2番の「北市川学園」、4番の「東国分学園」、10番の「春木川学園」、19番の「爽風学園」の4つになります。

○この4つは、検討委員会の候補とさせていただきます。そして教育委員会の提案からすると、5案から7案ということですので、あと1つから3つというところ。先ほど教育委員会から提案のありました、子供たちや地域の意見で最も多くの8票の応募があった「なかよし学校」を5つ目に入れたいという案は、よろしいでしょうか。では、今決めた案はこのままで、ネーミングの所で皆さんのご意見があればお伺いしたいと思います。また、これとこれが一緒だったら良いのではないかとすることがありましたら、先ほど挙げた中から選んで頂ければと思います。

●全体で10ぐらいであれば、子供たちの所へ持っていきます。ここで絞るのが大人の役目だと考えています。「こういった名前が地域としてはふさわしいと思うから、この中から選んでください」という絞り込みであるご理解いただければと思います。

○今、絆学園という案が出ていますが、絆学園というのは曾谷小の5年生が案を出しています。理由に「三つの学校のきずなが

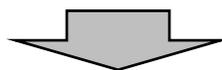
合わさりたいから」と書いてあります。子どもたちの中から「なかよし学校」が出ていますので、これを合わせて「なかよし絆学園」のようにすると、子どもの気持ちがとても表れるのではないかと思います。

- 「なかよし学校」というのは、良いと言えば良いと思いますが、やはり小学生の発想であって、中学生が、「あなたこの卒業ですか」と聞かれて、「なかよし学校」と言うのは、「中学生は良いのかな」という気がします。東国分中の応募数が少ないというのもあると思いますが、中学生がどう考えるかということを考えました。
- 学校目標の話があったのですが、そこに地域社会というキーワードがあったと思います。「なかよし」も「絆」もすごく良いとは思いますが、地域がどこの学校かわからないです。北市川でも曾谷でも何でもよいのですが、地域が校名の中に入っていた方が、地域社会とのつながりのイメージを持てるのではないかと思います。
- 一体型を目指すのであれば、例えば東国分であれば、どこにできるかによって少しおかしくなるのではないかと思います。北市川学園にしても東国分学園にしても、最終的には、目標である一体型校舎のできる場所が一番であって、少しずれてしまった時はどうするのかと思いました。もうひとつは、時代的なことがありますので、「令和学園」などはどうかと思いました。
- ここで確認ですが、これはあくまでも学校名ではなく通称名です。学校名は東国分中学校、稲越小学校、曾谷小学校になります。そして仮に何年後に一体型の学校になる時には、新たに学校名を決めるということによろしいですね。あくまでも併設型の中での通称だということです。
- 私は「梨の花」が良いと思います。仮に一体型の校舎が東国分ではなく、稲越、あるいは曾谷になったとしても、地域を表すのではないかと思います。
- もともと統合する学校は、東国分中ブロックとして一つにまとまっているので、「東国分学園」であれば、場所が曾谷だったとしても、東国分中ブロックが統合されたものということになるのではないかと思います。
- では、ご意見はここまでとさせていただきます。はじめに、2番、4番、10番、19番については数が多かったということで、決めさせていただいています。そのほかの1つから3つについてですが、先ず「なかよし学校」があります。これは「なかよし学園」ということで「学園」に統一させていただきたいと思います。そのほかには、「なかよし絆学園」「梨の花学園」がありますが、投票してもらおうか、手を挙げてもらうかということになりますでしょうか。
- 委員の皆様からせっかく出して頂いたものですので、「8案でいきます」というご意見を頂ければ、その数で行かせていただくことも出来ます。そして、例えば子供たちに3つに絞ってもらい、最終的にはここで1つにするといった方法もあるかと思います。
- では、せっかく皆さんからご意見を頂いて、これだけのものを挙げて頂きましたので、投票はせずに8個で、小学生、中学生に提案していきたいと思います。それから、小学生、中学生に決めてもらう時に、1つではなく3つぐらいで決めてもらうということですが、3つに決めた後はどうなるのでしょうか。
- 3つぐらいに子供たちの投票で絞ったものを、ここで1つに絞るという考え方です。中学生と小学生の人数が違いますので、どうしても発達段階による偏りが出てくると思うのです。ですから、最終的なところは、地域の皆さん、保護者の皆さんで絞っていただくのがよろしいのかと思います。
- 小学生、中学生に選んでいただいて、そこで上位になったものは大切にすることは教育委員会にもお願いしたいと思います。先ずは、子供たちの自主性を尊重したいということで投票して、とりあえず3つぐらいにするということ、今日の段階でご理解を頂くということによろしいでしょうか。それでは、次回に皆さんにお諮りして、そこで出たものを、今度は教育委員会の方で最終的に決めて頂くという流れでやらさせていただきます。



⑤ 説明事項：検討委員会が児童生徒に提案する通称名候補

1	なかよし学園	4	春木川学園	7	梨の花学園
2	北市川学園	5	爽風学園	8	令和学園
3	東国分学園	6	なかよし絆学園		



児童生徒の投票

